

2025 年度
聖徳学園中学校 適性検査（共通 2 科型）
適性検査 I・II 解答例と解説

この解答例と解説はあくまでも採点の一例を示したものです。

本校にお問い合わせいただきましても、個別の採点内容等につきましては、
お答えできません。あらかじめご了承ください。

適性検査Ⅰ〈共通2科型〉解答例／解説

文章1

出典は、外山滋比古『日本語の個性』による。英文学者であり言語学者でもある著者が、言葉と現実の体験について述べた文章である。文学や和歌の世界では、自然の事物を実際に知らなくても、イメージのみに注視して秀作が作られるという日本文学の伝統があるが、現実の体験をもたないままでは、言葉の意味を真に理解することはできないと述べている。イメージだけでもものを見ることについて筆者の懸念していることを理解していきたい。

文章2

出典は、樋口裕一『「頭がいい」の正体は読解力』による。小論文・作文指導の教育者である著者が、読解力をつける方法について説明した文章である。著者は、読解力は健全なコミュニケーションの原形を形作るものであると述べている。読書が昔ほど当然の行為でなくなった今の時代に、それ以外の方法で効率的に読解力をつけるにはどうしたらよいのかを理解していきたい。

〔問題1〕

解答例

〈文章1〉

物事を身にしみて理解できず、心のたくましさを失うことになる。(三十字)

〈文章2〉

スポーツの試合を見ても、本当の意味で理解することはできない。(三十字)

【解説】

文章1

では、現実の体験に欠けると、言葉を教えても「すべては空の空なるわかり方をする。身にしみてわかることがない」とある。

家康の言葉の比喻を理解するには「重い荷物をもつ」という現実の体験がなくては真に理解できないというのである。また、対象をはつきり見る現実の体験なしに、用意されたイメージを通してものを見ることが普通になると「心のたくましさを失うことになる」とあるので、これらをまとめる。

文章2

では、読解力をつけるには、「言葉を実際に使うこと、文章を書くこと」という現実の経験が必要であることを説明するための例えとしてサッカーが挙げられている。サッカーをしつかり理解して見るにも経験が必要であり、「経験のない人がいくらテレビ中継を見ても、本当の意味で理解しているとは思えない」とある。つまり、現実の経験がなければ、スポーツを本当の意味では理解できないと述べているのである。

〔問題2〕

解答

家康が、くれない。

【解説】

文章2では、「読解力の低下」によって、周囲の常識的な読み取りが理解できない人がクレマーになっていくのではないかと述べられている。**文章1**の冒頭では、家康の「人生は重き荷を負って遠い道を行くようなものだ」という比喩は「重い荷物を背負って、長い道のりを歩くのは辛い」という体験がなければ「身にしみてわかることがない」と述べられている。家康の時代であれば、「重き荷を負って遠い道を行く」ことが辛いことであることは、誰でも共通して理解できることである。しかし、現代ではその経験がない人もいる。つまり、これは、現実の体験の不足により「読解力の低下」が起きていることの例なのである。

〔問題3〕

解答例

解答省略

【解説】

まずは問題と条件をよく読んで、作文のテーマと文章から読み取れることを整理することが大切である。条件が合わない、減点につながってしまうので気をつけたい。まず、条件①として、**文章1**または**文章2**で述べられている読解力に対する考え方を読み取ってまとめることである。どちらか一方に触れていればよい。**文章1**では、現実の体験に根差した読解力が心のたくましさを育て、相手の言葉を真に理解できるようになるという考え方、**文章2**では、読解力をつけることで、周囲の人と健全なコミュニケーションを取ることができるようになるという考え方が書かれている。これらの考え方のどちらかをふまえて、これからどのようにコミュニケーション力を身につけていきたいか、自分の考えを書く。どのような方法で、どのような力を身につけたいのかを具体的に書くことが大切である。条件②の段落分けも忘れないようにしたい。

適性検査Ⅱ

1

〔問題 1〕

〔理由の説明〕

2 位以下の合計得点は、A 小学校が、 $4 \times 2 + 2 \times 15 = 38$ (点)、B 小学校が、 $4 \times 2 + 2 \times 14 = 36$ (点)、C 小学校が、 $4 \times 6 + 2 \times 11 = 46$ (点) となり、B 小学校と C 小学校の 2 位以下の合計得点の差は、 $46 - 36 = 10$ (点) となっている。B 小学校の合計得点が、A 小学校、C 小学校の合計得点より高くなるには、B 小学校の 1 位の得点が、C 小学校の 1 位の得点より、少なくとも、 $10 + 1 = 11$ (点) 多くならなければならない。また、B 小学校の 1 位の人数は、C 小学校の 1 位の人数より 1 人多いから、1 位の得点は、 $11 \div 1 = 11$ (点) 以上であればよい。

最も低い得点 (11) 点

【解 説】

2 位以下の合計得点をもとにして考えます。それぞれの小学校の 2 位以下の合計得点は、A 小学校が、 $4 \times 2 + 2 \times 15 = 38$ (点)、B 小学校が、 $4 \times 2 + 2 \times 14 = 36$ (点)、C 小学校が、 $4 \times 6 + 2 \times 11 = 46$ (点) です。2 位以下の合計得点が最も多い C 小学校より、B 小学校の合計得点が 1 点でも多ければ B 小学校が 1 位になります。B 小学校と C 小学校の 2 位以下の合計得点の差は、 $46 - 36 = 10$ (点) なので、B 小学校の 1 位の得点が、C 小学校の 1 位の得点より、 $10 + 1 = 11$ (点) 多い必要があります。また、B 小学校の 1 位の人数は 4 人、C 小学校の 1 位の人数は 3 人なので、1 位の得点を $\square$ 点とすると、B 小学校の 1 位の得点は、 $(\square \times 4)$ 点、C 小学校の 1 位の得点は、 $(\square \times 3)$ 点と表すことができます。よって、 $(\square \times 4) - (\square \times 3) = 11$ (点) となる $\square$ にあてはまる数は、 $(\square \times 4) - (\square \times 3) = \square \times (4 - 3) = \square \times 1 = 11$ (点) より、 $\square = 11$ です。

A 小学校の総合点 〔式〕 $11 \times 3 + 4 \times 2 + 2 \times 15 + 24 = 95$ 得点（ 95 ）点		
B 小学校の総合点 〔式〕 $11 \times 4 + 4 \times 2 + 2 \times 14 + 6 = 86$ 得点（ 86 ）点		
C 小学校の総合点 〔式〕 $11 \times 3 + 4 \times 6 + 2 \times 11 + 15 = 94$ 得点（ 94 ）点		
1 位 A 小学校	2 位 C 小学校	3 位 B 小学校

特別点を加える前のそれぞれの小学校の合計得点は、A小学校は、 $11 \times 3 + 4 \times 2 + 2 \times 15 = 71$ (点)、B小学校は、 $11 \times 4 + 4 \times 2 + 2 \times 14 = 80$ (点)、C小学校は、 $11 \times 3 + 4 \times 6 + 2 \times 11 = 79$ (点)となります。特別点を加えた後のA小学校の総合点が、B小学校やC小学校の総合点よりも高くなるには、全体の1位の選手はA小学校にいないといけないので、そのときのA小学校の総合点は、 $71 + 24 = 95$ (点)となります。また、全体の2位の選手がB小学校にいるとすると、B小学校の総合点は、 $80 + 15 = 95$ (点)となり、A小学校の総合点と等しくなってしまいます。よって、条件に合うようにするには、2位の選手はC小学校、3位の選手はB小学校にいるということになります。そのときのB小学校の総合点は、 $80 + 6 = 86$ (点)、C小学校の総合点は、 $79 + 15 = 94$ (点)となり、条件に合うことがわかります。

2

〔問題 1〕

(選んだ一つを○で囲みなさい。)	
泉佐野市	弘前市
(例)・泉佐野市 泉佐野市で仕事をしていない 20～29 歳の人数が増加しているという課題に対して、これらの人たちに農業などの技術を身につけるための職業訓練などを行うことで、職に就く機会を与えることができる。	
・弘前市 弘前市の農業従事者のうち若者の割合が低いという課題に対して、泉佐野市から人がくることで、若い年代の農業従事者が増加し、農業の後継者不足を解消することができる。	

【解 説】

泉佐野市としては、農業を始めたい人や若い世代で仕事をしていない人に対して、職に就くことを前提にして農業技術などの職業訓練を行うことができます。また、人口が少しずつ減少している弘前市としては、そのような人たちに農業に関わってもらうことで労働力不足を解決することができます。図 2、図 3 からこのプロジェクトに参加する人の年齢について考え、答えをまとめましょう。

〔問題 2〕

〔「農業女子プロジェクト」が農業にもたらす役割〕
（例）女性の農業従事者の数の減少や高齢化に対して、若い年代の女性の農業従事者の数を増やすことで、農業従事者数を維持することができる。
〔「農業女子プロジェクト」の取り組みが女性の農業従事者に対して与えた効果〕
（例）女性の農業従事者の声を商品に反映し、女性でもあつかいやすい農具などを開発していくことにより、女性の農業従事者が働きやすい環境が生まれ、女性が農業に従事しやすくなった。

【解 説】

「農業女子プロジェクト」のメンバーの年齢構成を見ると、女性の農業従事者の中で割合が低い 40 代までのメンバーが多いことから、このプロジェクトがもっと広まることで、若い年代の農業従事者を増やすこと、農業従事者数を維持することが期待されます。また、自分たちの声が反映されやすい状況であることは、自分たちの力で今よりも働きやすい環境をつくり出すことにもつながります。

3

〔問題 1〕

(例) ペットボトル内の酸素は、すべてペットボトルに入れたカイロの粉の中
の鉄粉と結びつき、24時間置いた後のペットボトルの中には酸素と結びついて
いない鉄粉が残っている。

【解 説】

鉄粉には磁石に引きつけられる性質があります。24時間置いた後のペットボトルの中身が磁石に引きつけられたことから、ペットボトルの中には鉄粉が残っていると考えられます。この実験ではペットボトルのふたを閉めたままであったため、新しい空気が入ってきませんでした。そのため、ペットボトル内の酸素がすべて鉄粉などと結びついて使われると、残りの鉄粉は酸素と結びつくことができず、そのまま残ります。

〔問題 2〕

〔式と文章〕
（例）空気中の酸素の体積の割合を求める式は、空気中の酸素の体積÷空気の
体積×100（％）で表される。実験で、ペットボトル内の空気中の酸素の体
積は、ペットボトルがへこんだ分の体積と等しく、これはあふれた水の体積と
も等しい。また、ペットボトル内の空気の体積は、ペットボトルの内側の体積
から、カイロから取り出してペットボトルに入れた粉の体積を引いたものと等
しい。よって、空気中の酸素の体積の割合を、実験の結果の表にある値を利用
して求めるには、あふれた水の体積÷（ペットボトルの内側の体積－カイロか
ら取り出してペットボトルに入れた粉の体積）×100＝85÷
（520－90）×100の計算をすればよい。
空気中の酸素の体積の割合： 19.8 %

【解 説】

実験のペットボトル内に注目します。ペットボトル内の空気中の酸素の体積は、カイロが使った酸素の体積と等しく、カイロが使った酸素の体積の分だけペットボトルがへこんだと考えられます。また、ペットボトルがへこんだ分の体積は、形がへこむ前のペットボトル全体の体積と24時間置いた後の形がへこんだペットボトル全体の体積の差であり、これはあふれた水の体積と等しく、85.0 cm³となります。さらに、ペットボトル内の空気の体積は、ペットボトル内の空間の体積と等しいと考えると、ペットボトルの内側の体積からカイロから取り出してペットボトルに入れた粉の体積を引いたものと等しくなります。よって、空気中の酸素の体積の割合は、あふれた水の体積÷（ペットボトルの内側の体積－カイロから取り出してペットボトルに入れた粉の体積）×100＝85.0÷（520－90）×100＝19.76…より、19.8％とわかります。